

医療提供体制推進委員会（第3回） 会議録

日 時：平成24年8月10日 午後5時00分開会

出席委員：稲坂副委員長、大村委員、川淵委員、北村委員、小橋委員、小林委員、嶋崎委員、山岸委員長

欠席委員：太田委員

(50音順)

<会議の概要>

○議事

議題1 女性アドバイザー一部会の結果について

事務局説明 **資料1** 女性アドバイザー一部会の検討状況について

質疑応答

山岸委員長 どうも有難うございました。只今の説明につきまして、何かご意見、ご質問等がございましたらお受け致しますけど、如何でございましょうか。これは病児保育というのがやはり、一番最近は重要視されているところでございますけど、何か具体的にはこのようなものになりそうだというようなお考えはございますか。

事務局 はい。病児保育につきましては、統合新病院におきましても、病院の中に一体の形と致しまして設置したいというふうに考えております。また、感染の患者さん、お子さんと言いますか、そちらの対策も含めまして、「室」につきましては、そのような部屋をきちんと分けたような形で対応出来るようにというふうに考えております。

山岸委員長 それと、このやはり保育のことでございますけども、結構看護師さん等のお子さんを見る施設は整っているのですけれども、女医さんのお子様を見る施設が、意外と看護師さんにはご利用出来るけれども、特に最近が増えていきます女医さんが利用しにくい部分が少しございます。多少勤務も違うでしょうが、その辺の所はご理解いただいた上でのお考えでございましょうか。

事務局 院内保育、職員向けのお子さんに対する院内保育につきましては、女医さんのお子さんはもちろんのこと、例えば男性の医師の方のお子さんにつきましても、また院内保育が出来るような体制で出来ないかというご意見

をいただいております。その辺を踏まえまして、とにかく何よりも働きやすい病院ということで、いろいろな手と言いますか、パターンに対応出来るような保育の姿勢を取ってまいりたいというふうに考えております。

山岸委員長 他はございませんでしょうか。

稲坂副委員長 少し宜しいですか。

山岸委員長 はい。どうぞ。稲坂先生。

稲坂副委員長 学童保育や小学生、中学生の時間外や休みの時間、夏休みだとか、見てもらう場所があんまり考えられてなかったということがあるみたいです。それから深夜の時間帯にも子どもの面倒を見ていただく必要が出てくることがあるみたいです。深夜にそういう場があれば、夜勤がしやすくなり、看護師さんでも医師でも同じなのだろうと思います。

それからもう一つ問題になるのは、お産による休養と休みです。産休は良いのですが、産後に休む時間が長くなると、復職が難しくなると言います。これはソフトの面かもしれませんが、問題になるのだというふうに聞きました。

山岸委員長 どうぞ。

事務局 はい。学童保育については、少し今のお話の中ではまだ検討、想定が出来ておりませんので、また教育委員会、こども課、福祉の方とも相談した上で、いずれにしろ、市の中で手厚く出来るような形を考えてまいることが必要かと思えます。

また、深夜帯につきましては、まずは形としましては、夜勤へ入っていただけるような形での院内保育のサポートというのが重要な点かと思えますので、ここはしっかり対応してまいりたいというふうに思っております。

また、産後のいわゆる復職へのサポートという面に関しても、まず、教育出来る病院、研修、教育が出来る体制ということは、部会等の中でも事あるごとに出てまいりましたので、その面としてのいわゆる復職サポート、または、これが看護師確保に通ずる策であろうということで、看護師養成部会等でも話の中で出ております。継続して検討してまいりたいと思いません。

山岸委員長 他は宜しいでしょうか。人材確保という面でも非常に大事なことでござ

いますので、宜しくお願い致します。他にないようでしたら、次の議題に入りたいと思います。それでは、議題の2、意見募集の結果について、事務局からお願い致します。

議題2 意見募集の結果について

事務局説明 **資料2** 意見募集の結果について

質疑応答

山岸委員長 どうも有難うございました。只今の説明につきまして、何かご意見、ご質問等はございますでしょうか。たまたま私は拝見し、前から思っていたことですが、加賀温泉駅前から、この（ご意見箱の）3-7の30番のご意見で、何とか雨風に当たらずに病院へ行けないかというようなことが書いてあります。まさにこれは、私は非常に良いご意見と思います。夢のような話は出来ないと思うのですけれども、ご当地の季節柄とかを考えますと、何かそういう工夫をされたら良いかという非常に良いご意見もいただいているので、大変結構かと思えます。大いに参考にさせていただきたいと思えます。

他、何かございますでしょうか。宜しいでしょうか。そうしましたら、次の議題に入りたいと思います。それでは、議題の3、統合新病院建設部会(第7回)の開催結果についてと併せまして、議題の4、加賀市統合新病院建設計画(案)につきまして、事務局からご説明をお願い致します。

議題3 統合新病院建設部会（第7回）の開催結果について

議題4 加賀市統合新病院建設計画（案）について

事務局説明 **資料3** 統合新病院建設部会委員からのご意見等について

資料4 統合新病院建設基本計画（案）

質疑応答

山岸委員長 どうも有難うございました。只今の説明につきまして、ご意見をいただけますでしょうか。本日、出席委員の先生もいらっしゃいますけれども、何か補足等はございませんでしょうか。川渕先生はございませんか。

川渕委員 いえ、特にございません。

山岸委員長 　少し全体、各論的になり過ぎかも知れませんが、防犯のセキュリティに関して、少しこの記載が乏しいような気がします。この災害とか、そういうことについては随分細かく書いてあるようですけども、具体的な、例えば現在の加賀市民病院とか、それから山中温泉医療センターは、例えば病棟へ強盗が入ったとか、ナースステーションから物品が、盗難が相次いでいるとか、そういう事例はございますでしょうか。なければ結構ですが。

嶋崎委員 　病棟内で患者さんがお隣の患者さんのお財布からお金を取ろうとしていたというのはありますけれども、山中温泉医療センターの方は結構、治安の良い所で、周辺の住宅の方とかは鍵も掛けずに生活してらっしゃる方も多いです。

山岸委員長 　そういうことではやはり駄目でしょうけれども。

嶋崎委員 　基本的には良い所だと思います。

小林委員 　以前に公衆電話をそのまま持っていかれたっていうことがありまして、それでカメラの部分の対応をきちんとしようというようなことはございました。

山岸委員長 　そう申しますのは、今後、加賀温泉駅前の近くに移転するということですから、恐らく外部からのアクセスも良くなって、そういう良くなる所はあると思うのですが、それに伴って、もし、そういう所に、そういう防犯対策のセキュリティが弱い所を見抜かれますと、いろいろな意味で不都合が生じてくる。少し気になったものですから、もし何か、例えばこのスタッフステーションについても、看護師さんの安全、それからもちろん患者さんの安全とか、そういうことを最大限配慮したような配置にするというようなことをお考えいただければと思います。これは少し思いつきでございますけれども。はい。どうぞ。

事務局 　はい。防災、防犯面に関して、特に防犯の方は今、細かく触れてございませんけども、一時、問題となりました、例えば新生児、赤ちゃんを連れ去るとか、院外の全く関係ない外部の者が侵入するということも考慮する必要がございます。今後計画していく段階で、外来者の識別およびスタッフの識別も併せて、トータルに防犯システムというものを策定していきたい、構築していきたいという考えです。以上でございます。

稲坂副委員長 少し宜しいですか。

山岸委員長 はい。どうぞ。

稲坂副委員長 犯罪というのは何か流行があるみたいで、だいぶ前に、加賀市の病院ですけれど、金庫が盗まれた事件がありました。また、確か山中で薬が無くなったことがあった、ずっと昔ですけれど。それから、最近聞いた話では、お葬式の時に車上狙いで車の中から金目の物を盗むという、つい最近、何件か続けて出ているみたいです。

 だから、あらゆることがあり得ると思うし、それから、新しい病院は外部の人から非常に目につきやすいと思いますから、ハード面でどうするという事よりも、ソフト面が大事なのだらうと思います。

山岸委員長 もう本当の所を申せば、特に消灯というか、面会時間が終わった後から次の7時頃までは、本当にある意味、びっくりするようなことが起こっているようです。いろいろな防犯ビデオとかを見る機会がございましたけども、訳の分からない人が入ってきて、それから通り過ぎて、何事もないのですけれども、そういうことが全く知らない間に起こっている。誰も知らないというようなことが、やっぱりこれからも、今はなくても起こり得ることですから、やはり、病院ですので、今まではそういう互いの信頼関係の中でいけたかも分かりませんが、アクセスが良くなる手前、いろいろな外部からのそういう侵入も起きやすいということを、やはり、少しお考えいただくのが賢明かと思います。はい。どうぞ。

嶋崎委員 宜しいですか。防犯の場合は出入り口を少なくしておけば良いのですが、今度、防災を考えた時は、いろいろな所から逃げられないといけないというようなこともあります。今の市の方のお考えを少しお聞きしたいと思います。58ページの図で、病院の敷地で北側の方に大きな矢印が2本書いてございます。西側の方は植栽ゾーンということで、ここは恐らくつぶされるのかなと思います。また、植栽の方でいくと、南側で用水路をまたぐ道が2本ほどございます。片方は少し緑色がかっていて、片方は白いみたいな部分がありますけれども、この辺の所は意味があるのでしょうか。

 あとは、防犯と防災を両立して、そのアクセスまで含めて建築の会社の方が少し考えてくるというようなことになるのでしょうか。その辺のところを少しお聞かせいただければと思います。

事務局 はい。委員長。

山岸委員長 はい。どうぞ。

事務局 はい。すいません。58ページの図にあります植栽ゾーンというのはあくまで概念で、どこにどういった植栽を設けていくかということは、提案の中で決まっていきます。この白い部分が白く、緑の部分は全部緑にしなさいというわけではなくて、全体の中で緑の配置等を考えなさいと。特に西側については住宅等があるので、植栽等の配慮が必要ではないかということを考えております。

それと、出入りの関係につきましては、2つの交差点以外にも、非常用の出入り口として、南側の川の部分や西側の部分も農道等を利用して人の出入り、避難路として確保することが出来ますので、そういった部分には当然フェンスとか植栽等を設けないことも機能的には考えていきたいと思っております。次に、下の建物の防災です。

ここの駐車場は想定台数が900台を予定してございます。なおかつ、駅からも近接しているということで、全く関係ない、病院には関係ない方が停められるということも考えられます。そうした中で、駐車場へ車を停められて入ってこられる患者さん等につきましても、常時監視体制を取りたいと思います。そういうことも業者さんに提案させたいという考えは持っております。

その中で、先ほどの防災面との兼ね合いもございます。防災面は内部の火災および地震とか自然災害に対する備えもしかりですけども、この今のセキュリティの話であれば、やはり、ある程度一定の監視体制を組まなければセキュリティを確保出来ないという考えを持っておりますので、その辺も併せて業者側に提案させたいという思いです。以上でございます。

山岸委員長 有難うございます。他にございますでしょうか。それでは、他にないようでしたら、次の議題に入りたいと思います。それでは議題の5、医療体制のご意見箱へのご意見につきまして、事務局からご説明お願い致します。

議題5 医療体制ご意見箱へのご意見

事務局説明 **資料5** 医療体制ご意見箱へのご意見

質疑応答

山岸委員長

どうも有難うございました。只今の説明につきまして、何かご意見はございますでしょうか。宜しいでしょうか。それでは、これらの意見につきましては、事務局から各部会の委員の先生に送付いたしまして、ご一読いただきますようにご案内をお願い致します。

以上で用意した議題はすべて終了いたしましたけれども、何か全体としてご意見等はございますでしょうか。

宜しいでしょうか。そうしましたら、最後に事務局から事務連絡がございますようですので、宜しくお願い致します。

○事務局連絡

- ・ 次回協議会は春頃の予定。

以上